

海外派遣留学生

留学報告書

韓国・国民大学

学部学科・研究科専攻	政治経済学部経済学科		留学時学年	1 年
留学先	国	韓国	大学/機関	国民大学
期 間	2025 年 2 月 26 日 ~ 2025 年 8 月 25 日			
	中期		計 6 ヶ月	

[1] 参加したコースの時間数と時間割

・科目名（受講した科目を全てご記載ください）：

- 課題：先進国日本研究
- 韓国語 2
- 現代日本政治の理解
- 現代日本経済の理解
- メディアで学ぶ韓国語と韓国社会
- 国際通商実践への第一歩

【時間割】

時 間	月	火	水	木	金	土	日
10 時半～12 時	○	○	○	○	○		
12 時～13 時半			○	○			
13 時半～15 時	○			○	○		
15 時～16 時半				○	○		

[2] クラス編成や授業方法について教えてください。

（クラス人数、国籍割合、担当の先生、授業方法、使用教材等）

大学の日本学科の授業は日本人韓国人以外の生徒は居らず、韓国語 2 の授業のみ外国人と受けた。国籍割合は中国人 6 人 アメリカ圏 4 人 ヨーロッパ圏 4 人 東南アジア圏 3 人で日本人は自分のみだった。大学の授業人数は 30～60 人とバラつきがあり、発表メインのクラスもあれば先生の解説メインのもあり形式も様々だった。語学堂では平日 9 時から 13 時まで 4 セット形式。1 日に文法を 2 つ習い月・水曜日はスピーキングメイン、火・木曜日にはリスニング・リーディングメインで単語テストもあった。金曜日には前半に 1 週間分の单元テストがあり、後半にはライティング練習や発音テストもあった。

[3] 課外活動や週末の過ごし方について教えてください。

トンアリ(日本で言うサークル活動)に挑戦し韓国語勉強のトンアリに参加した。週に 1 回外国人たちがボランティアの韓国人に教えてもらいながら、ゲームをしたりご飯を食べたりした。週末にはソウル市内の学生街に遊びに行く事や韓国人の友達と会うことが多かった。

大学の周りは自然が多い街だが、ソンスやホンデにバスで 1 時間強あれば行けるのでお出かけに困らず過ごせる。また日本学科に“ゆい”と言う学会があり、ハンガンでピクニックや MT(親睦会)を行なった。

[4] 派遣先でよく使った施設について教えてください。(図書館、学生会館、スポーツ施設等)

- 学生食堂
- スタディルーム(북악관:北丘館)
- パン屋さん(塩パンが美味しい)
- MMTX coffee(寮の前にあるチェーンコーヒー店)

[5] 宿舎（寮やホームステイ）での生活について教えてください。

部屋：1 部屋 4 人で使用

様子：寮には 2 段ベット 2 つ・勉強机 4 つあり、他にもクローゼットが置かれている狭い空間だが、ルームメイト同士の仲がよく、協力しながら買い出しや掃除を行なった。2 段ベッドの上を使うと天井に近く蛍光灯の光が眩しかったし、マットレスがとても硬く留学当初は睡眠に悩まされた。また机に凸凹があり不便だった。

寮の共用スペースに冷蔵庫と電子レンジやウォーターサーバーがあり、ご飯パックを温めたりフリーズドライのお味噌汁を用意出来たりする。洗濯はランドリールームがあり、洗濯機・乾燥機を 1 回 1800 ウォンずつで利用できる。1 時から 5 時以外なら無人コンビニが使える。

[6] 留学中に楽しかったこと、苦労したことを教えてください。

- **楽しかったこと**：毎日が外国語の生活だから語学力の成長を一番感じた。留学先には他国から来ている留学生が多く英語や中国語、ベトナム語なども聞こえて新鮮な体験だった。色々な国の友達を作れて文化の教え合いをしたり、連絡先を交換して交換留学後も電話したり交友関係を広められて楽しかった。元々 K-POP を聞く事や韓流ドラマが好きで韓国文化についてある程度理解しているつもりだったけど、暮らす事でわかる文化の違いがあって間違い探しのように楽しかった。
- **苦労したこと**：日本での暮らしと寮での暮らしが異なる為苦労した。特に寮では自炊が出来ないので学生食堂の利用や外食が多く食費が高かった。冬場でも湯船が無くシャワーのみだったので日本のお風呂文化が恋しくなったりもした。気候は日本と大差ないが、3,4 月は黄砂の影響で毎日マスクをつけても喉がイガイガした。慣れない生活のストレスからかインフルエンザにかかり一週間寝込んだが隔離が無くルームメイト達に心配と迷惑をかけた。

[7] 留学の成果について教えてください

- 1) **語学力の向上**：留学に行き前は自己紹介や挨拶、短い文章が話せるレベルだったが、帰国時には討論や中級の単語を覚えスムーズに会話ができるようになった。大学には訛りが酷い教授が居たり専門用語が出てきたりで、韓国人の話すスピードについていくのが大変でメモを取るのが難しかったけど最後の方にはスラスラとメモを取れるようになった。
- 2) **専門知識の向上**：授業の多くは日本学科の物で経済学の授業を少ししか履修出来なかったが、国際通商学の授業を通して貿易で発生する関税や世界各国の経済発展の事例を知ることが出来た。また日本の経済の理解の授業ではビデオを見たり配布される PPT 資料を使ったりして日韓の経済の違いを学べた。
- 3) **自己成長など**留学は準備段階から自分で用意しなければならない事だらけだった。ビザ申請や留学先の人をやりとりする時にわからない事があっても自分でどうにか解決しなければならなかったから行動力が身についた。慣れない環境で過ごすのは気を使い疲れるけど振り返ってみると挑戦にありふれていて充実した日々だった。大学生活では日本よりも発表や自分の意見を述べる時間が多く一つの問題に対して深く考えるようになった。

[8] 来年度に留学を希望する学生へのアドバイスをお願いします！

人生に一度あるかないかの貴重な留学を是非体験してみて欲しいです！私は韓国語の授業や寮の隣の部屋の外国人とかけがえのない友達になり、とても楽しかったです。毎日がチャレンジでありふれている環境で説明力や行動力が伸びます！苦しい事も沢山あって帰りたくなるけど、それでも半年間留学できて幸せでした。もっと学ぶ為に 1 年間の留学に挑戦すれば良かったと感じる程濃い人生を過ごせました。留学に興味がある方 ぜひ勇気を出して留学プログラムに参加してみてください！ファイティン！

[9] 留学に関する費用の総額について内訳を教えてください。

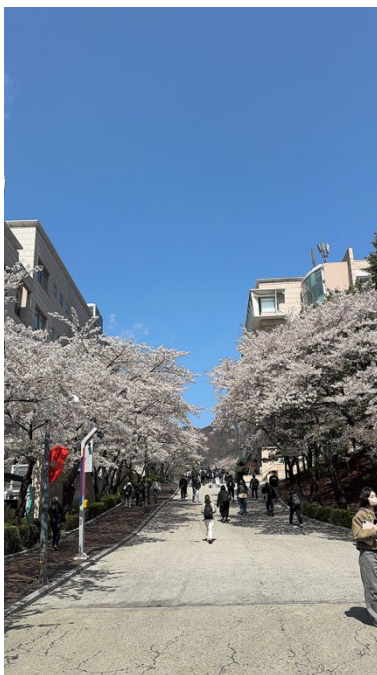
内訳			金額 (留学時の日本円)
1	短期留学者のみ	旅行会社に支払った経費(授業料、フライト代他)	
2	中期・長期留学者のみ	フライト代 往復	41376 円
3	中期・長期留学者のみ	滞在費(寮費など)	149382 円
4	教材費		10000 円
5	保険代		158440 円
6	私生活における諸経費(食費・交通費・洗濯費等)		食費 月 30000 円 交通費 月 5000 円
7	個人的な買い物		月 18000 円程
8	その他(esim 半年間)		35820 円
9	留学に関する費用(1 から 8 の合計)		約 713000 円
10	受給した奨学金(奨学金名:)		
11	留学に関する費用総額(上記 9 から 10 を引いた額)		



学園祭(5月)



学食(法学館)



寮から大学への道



語学堂の修了式